災 害 名 日向灘地震 災害年月日 1769年(明和6年)8月29日 主な被災地 災害の種類 宮崎県延岡市、大分県、熊本県 地震•津波 マグニチュード 7.75 死者 有り 延岡城跡(延岡市東本小路)

災害の概要

最大震度6、M7.75の大規模地震。

延岡城、大分城で被害多く、寺社、町屋の破損が多かった。熊本領内でも被害が多く、津波があっ た。津波の高さの詳細は、大分県臼杵で2~2.5m、佐伯、蒲江で2m、宮崎県延岡で1~2m。

画像出典:国土地理院

延岡藩領内で山崩れが数十箇所で発生。高千穂では山崩れで家屋全壊13戸、橋梁11ヶ所が損壊した。 死者も出たとされている。しかし、翌二十九日朝まで雷雨となり、翌々八月一日は大風であったため、 被害を分類しがたい面がある。

防災対策

〇公共

- ・日向市津波ハザードマップ (日向市)
- https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=180829153428
- ・延岡市地域の津波による浸水ハザードマップ(延岡市)
- https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/15/3338.html
- ・大分市津波・地震ハザードマップ(大分市)
- https://www.city.oita.oita.jp/o009/kurashi/anshinanzen/1367470455977.html
- ・臼杵市津波避難マップ(臼杵市)
 - http://www.city.usuki.oita.jp/docs/2014020700206/
- ・熊本市地震ハザードマップ(熊本市)
- http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2121

防災対策

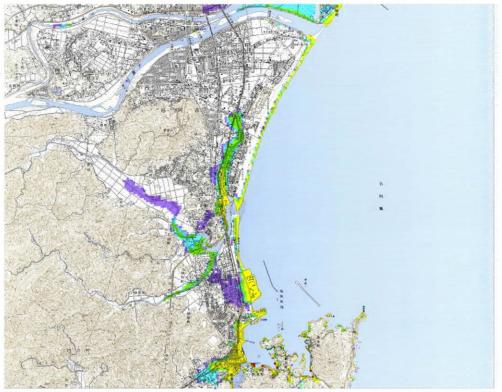
〇延岡市津波浸水予測図 (延岡市)

延岡市津波浸水予測図

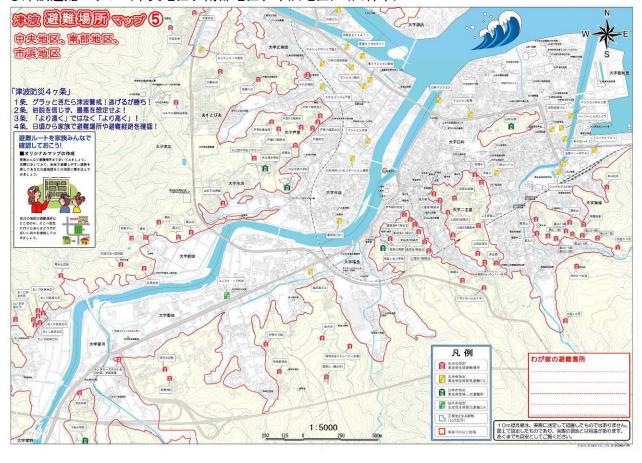
想定地震:東南海・南海地震

地震の規模: M8.5 最大震度: 6弱 津波高: 5m~6m



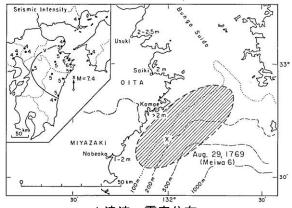


〇津波避難マップ(中央地区、南部地区、市浜地区)(臼杵市)



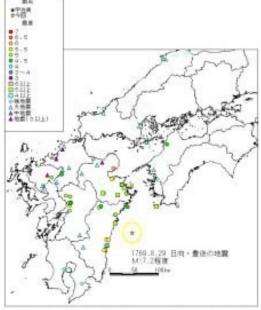
厂状況写真 厂絵画 ▼文献 ▼その他

〇参考図



▲津波・震度分布

画像出典:「九州東部沿岸における歴史津波の現地調査-1662年寛文・1769年明和日向灘及び1707年宝 永・1854年安政南海道津波一」 羽鳥徳太郎(1985年 歴史地震研究会)



▲日向灘・豊後の地震の震度分布

画像出典:「震度分布にもとづく江戸時代の4地震の震源域 と規模の再検討(概報):1662年日向灘・1769年 日向・豊後・1847年善光寺地震・1861年宮城の4 地震について」松浦 律子, 中村操, 茅野一郎, 唐鎌郁夫(2004年 歴史地震研究会)

〇参考文献

- •「理科年表H28年版」国立天文台編(2015年発行)
- ・「日本の自然災害500~1995年」日本専門図書出版(2010年発行)
- 「宮崎県における災害文化の伝承」宮崎県土木部 (2006年発行)
- ・「地震・津波と災害」福岡管区気象台(1991年発行)
- 「福岡の気象百年」福岡管区気象台編刊(1990年発行)
- 「鹿児島の気象百年誌」鹿児島地方気象台(1983年発行)
- ・「九州東部沿岸における歴史津波の現地調査」羽鳥徳太郎(1985年歴史地震研究会)
- ・「震度分布にもとづく江戸時代の4地震の震源域と規模の再検討」 松浦律子(2004年歴史地震研究会)

○参考サイト

- ・「宮崎県における災害文化の伝承」宮崎県土木部 https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sabo/bosai/saigai/sashi.html
- ・「震度分布にもとづく江戸時代の4地震の震源域と規模の再検討(概報): 1662年日向灘・1769年日 向・豊後・1847年善光寺地震・1861年宮城の4地震について」(歴史地震研究会)

https://www.histeq.jp/kaishi/HE19/11-Matsuura.pdf